



R4-R6 地域おこし協力隊 活動報告書

吉見町地域おこし協力隊 宮堂 友佑

活動期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日



活動概要

地域	埼玉県吉見町
活動期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
活動内容	①農業への挑戦 ②さつまいも加工
目標	(1) 遊休農地の解消～さつまいもPJ～ (2) 新たな加工品の発見



なぜ地域おこし協力隊 になったのか

私は元々地域資源を活かしたビジネスに興味があり、「農業」を通じて何か出来ればと思っていたところ、吉見町で地域おこし協力隊の募集があり応募しました。

吉見町は都心から近く、多くの方々が通る町という印象もある一方で、田園風景が広がる自然豊かな環境であるこのまちは、新しいライフスタイルを築いていける絶好の拠点と感じ、自分の力を活かせる場と思っていました。

地域の方々の役に立つこと、農業を通じて町の「地域活性化」に貢献すること、新たな特産品や何かを生み出したい！人のために純粋に役に立ちたい！など沢山の思いを持っていました。



主な活動内容

R4~R6

R6 百穴まつり

1年目（R4）

【主な内容】

吉見町のことを何も知らない私でしたが、役場の方から紹介してもらい、農家さん（農業者）や地域の方々に面倒を見てもらいながら、交流を深め、多くのことを教えてもらいました。

私が最初に経験した農業は、「ニンニク」の収穫でした。「50代」で若手と呼ばれる農業の現状に驚愕を受けて、元気で、力いっぱいの農家さんと協力し、農業に触れることができました。

また、町の町政施行50周年の記念すべき年であったため、様々なイベントに参加させていただきました。特に実行委員会が中心となり、地域の方々と作り上げた「いちごまつり」では、副実行委員長に任命して頂き、完遂することができました。



2年目（R5） さつまいもPJ

【主な内容】

遊休農地を活かしたプロジェクトをスタートし、さつまいもの栽培を始めました。

一ツ木地内と田甲地内の2つの畑で実施し、農家さんや武蔵丘短期大学の学生さん、町内外の方々と植え付けから収穫に挑戦しましたが、吉見町の中でも場所によって作りやすい作物の違い農業の難しさ、また楽しさを感じることができました。

さつまいも畑の除草・防虫の日々でしたが、地域おこし協力隊の活躍を楽しみにしている町民の皆様に応えたい思いで一杯であり、毎日コツコツと作業して何とか収穫まで辿り着くことができました。



2年目（R5）加工品チャレンジ

【主な内容】

収穫したさつまいもで「町内で販売したり、イベントに参加できるような加工品を」ということで、武蔵丘短期大学の先生や学生の皆さんと開発を始めました。

さつまいもは保存性も高く、様々な形で加工できる魅力的な食材であり、地元の方々に楽しんでもらえる商品を生み出すことで地域の活性化につなげることを目的に取り組みました。

何度もメニューの調整や試作を繰り返し、味や見た目等を工夫してよりよい商品になるように改良を続けた結果、「宮ドーナツ」が完成し、イベントでの出店では、多くの方々に愛していただけの商品となったと思います。



各種イベントに参加させていただきました（町内・外）

吉見まつり



Yotteco
(寄居町)

吉見百穴さくらまつり



Hareza池袋
(東京都)

武蔵丘祭



築地本願寺
(東京都)

J A



代々木公園
(東京都)



3年目（R6）

【主な内容】

いよいよ最終年となり、集大成としてさつまいもの作付面積を大幅に拡大することに決めました。（昨年比の5倍程度）

本数は約1万本！！さつまいもの圃場は、田甲地内に集中させることでより良い品質で栽培することができ、天候不良によって畝立等にかなり手を焼きましたが、町内外（なかには大分県から）の方々も手伝いにきていただき、無事に終わることができました。芋掘りイベントも公民館担当と連携させていただきイベントを開催するなど苦しくも楽しい形となりました。

昨年（R5）は加工し販売していたが、今年度はさつまいもの取引先を見つけることに専念し、営業活動も無事終え、さつまいもPJが完了！！



その他の活動（吉見町）

①町内の農家さんのお手伝い

○地域の高齢化に伴い、力仕事で役に立てるなら
できる限り恩返しをしたいと取り組みました。

② よしみらい町づくり委員会「Jampocket」

○町政施工50周年事業から独立した実行員会とし
て再びお笑いイベントの担当を任せられました。

③にゃん田の会

○迷い猫を見つけたきっかけで、お付き合いをさせて
いただくことになりました。人も猫も安心して過ごせる
町へのお手伝いができました。



3年間を振り返って

吉見町に来てよかった

吉見町に来てもうすぐ3年となります。

初年度は特になかなか協力隊の活動として何も上手くいかず多くの方々でご迷惑をおかけしてばかりでしたが、そんな自分でも沢山の方々が暖かく受け入れてくださり、可愛がって頂きました。

私がこの「吉見町」に対してできたことはほんの僅かなものでしかありませんが、優しく応援してくださり、2年目になると「地域の方々に協力してもらって活動できる隊員」だと思うくらい支えてもらっただけでした。

さつまいもを始めた時も、事前準備や畝立て、植え方から収穫までの管理を気にかけてくれたり、作業が進んでないと心配してくれたり、ただ家の前を通過して挨拶するだけでも「家にちょっと寄ってけばええで」と迎えてくださったりとこの3年間挫折することなく業務を遂行できたと感じます。

吉見町で独立するという目標は果たせませんでしたでしたが、この3年間は私の中でとても大切な財産となりました。

今後は、「いつでもおいで」と言ってくださる皆様に甘えるだけでなく、恩返しをしていけるように吉見町民との関係を今後も築いていきたいと思えます。



3年間本当に
ありがとうございました

